



ステイ先のお家で
ピザパーティー(左端)



教育学部
国際理解教育専攻
3回生 **濱田 麻里**
田辺高校(和歌山県)

Study Abroad Report 留学体験記



クラスメイトと憧れのヤンキー
スタジオMで(前列左端)



経済学部
企業経営学科
4回生 **藤井 海斗**
広島大学附属高校(広島県)

メルボルン短期留学体験記

大好きな英語をもっと好きに

私は2017年2月から3月まで、オーストラリアメルボルンで4週間の短期研修プログラムに参加しました。

もともと英語や国際交流が好きで、大学生になったら一度は留学の経験をしてみたいと思っており、参加を決めました。

英語圏を訪れたのは初めてではなかったのですが、オーストラリアに到着してすぐに驚いたのは想像以上に多民族社会だったことです。街中にいる方々が、いろんな国にルーツを持っていて、様々なアクセントやスラングが飛び交っており、圧倒されました。

メルボルンでの生活

研修先のディーキン大学付属語学学校については、世界中様々な国や地域の留学生が多く在籍しており、最新の電子黒板やアプリを使つてのゲーム形式の授業や英語以外の使用の禁止がされたゲームルームなど、生徒が楽しく学べる工夫が散りばめられていました。

印象に残っているのは、わたしのクラスの最終課題で取り組んだラジオ作成です。とても大変でしたが、放課後遅くまで残って切磋琢磨し合ったクラスメイトとは、深い絆が生まれました。



一ヶ月共に学んだクラスGE7B(後列右から2番目)

ステイ先については、最初の3週間はアメリカ人のご家族にお世話になり、最後の1週間は中国系インドネシア人のご家族にお世話になりました。どちらの家庭

も本当の娘のように大事にしてくれて、夜遅くまでお互いの文化や生活について語り合いました。日本へ発つ時に泣きながらお見送りをしてくれたマザー達に、大学在学中にまた会いたいと思っています。

感謝の気持ちを大切に

研修中、困難もありましたが、笑顔で終わられたのはクラスメイト、ホストファミリー、友達が支えてくれたお陰です。そして、私の夢や志をいつでも応援してくれる家族が快く参加させてくれたことに感謝しています。

ニューヨーク留学体験記

世界で戦うために

滋賀大学で経済を学ぶ中で、かつて「ジャパン・アズ・ナンバーワン」として世界から恐れられた日本が、近年ではアジア諸国の台頭により国際市場でのプレゼンスを失っていることを知りました。社会に出たら、日本の国際競争力回復に貢献したい。そのために、地球のどんな環境でも生き延びられる力をつけたい。そんな思いから、1年間休学してNY留学とアフリカでのインターンシップに挑戦することを決意しました。

最高峰が集う街NYでの留学

留学先のNYの街は想像以上に刺激的でした。ビジネス、芸術、スポーツなど、あらゆる分野で世界の最高峰に触れることができるこの街で、少しでも気を抜けば時代に取り残されてしまう。そんなプレッシャーを肌で感じながら全てにアクセル全開で挑みました。

3か月間の語学のトレーニングを終えた後、ニューヨーク大学に所属し、財務経理の専門性を強化しました。投資銀行出身のアメリカ人、饒舌な南米人の強烈な個性に圧倒されながらも、ゼミで培った討論力とサッカー部で鍛え上げた根性を総動員して一心不乱に食らいつきました。コーポレート・ファイナンスの授業では、ディスカッションとプレゼンでの貢献が評価され、MVPに選出されました。多国籍のクラスメイトから拍手を浴びた時には、体の芯が熱くなりました。



ブルックリン橋から、いざマンハッタンへ!

留学で得たもの

現在(2018年1月)は、南アフリカの最貧困地域でインターンシップに挑戦しています。NYと対極をなすような異文化環境ですが、チームで仕事をする際に「自分の価値を最大限に



語学学校で出会った友人たち

発揮して、仲間の信頼を得る」、この基本は地球のどこにいても変わらないのだと日々実感しています。40カ国以上の人と関わる中で手に入れたこの哲学が、自分自身の大切な財産となっています。